



▶小中学校の適正配置についての詳細は市ホームページに掲載しています。



写真:山佐小学校(広瀬町上山佐)

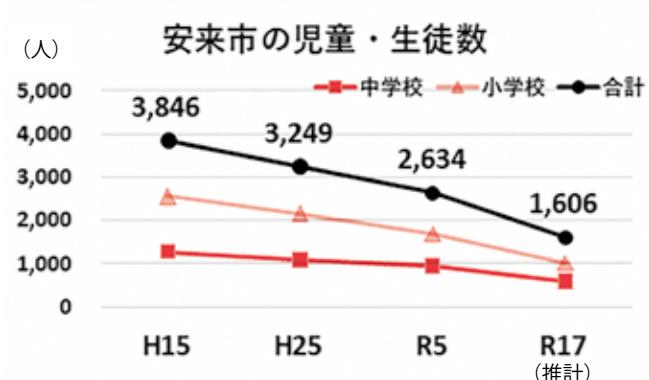
小中学校の適正配置を進めています

安来市では、将来の社会環境の変化を見据え、より良い教育環境を整備するため、令和5年度に「安来市立小中学校適正配置基本計画」を策定しました。今回の特集では、この計画を振り返るとともに、小中学校の適正配置に向けた現在の進捗状況をお知らせします。

問 教育総務課 (TEL 23-3140)

減少する児童・生徒数

左のグラフは、安来市内の小中学校の児童・生徒数を表したもので、平成15年度には、合計で3,846人だった児童・生徒数は、令和5年度には2,634人にまで減少し、令和17年度には1,606人にまで減少すると予測されます。



より良い教育環境のために
児童・生徒数の減少により学校の規模が小さくなると、子どもの学習環境にも影響が出ます。

適正配置基本計画

小規模校では、一人一人に合わせたきめ細やかな指導を受けられるといった利点がある一方で、自分とは異なる多様な考え方や価値観に触れる機会が少ないといった不利な点もあります。子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合う「協働的な学び」を通じて資質や能力を伸ばすためには、一定の規模の学習集団を確保することが重要です。

こうした状況などを踏まえ、安来市では令和3年度に「安来市立小中学校適正配置基本方針」を策定するなど、小中学校の適正配置についての検討を始めました。

そして、令和5年度に「安来市立小中学校適正配置審議会」の審議を経て、各学校の存続と再編の方向性を示した「[安来市立小中学校適正配置基本計画](#)」を策定しました。計画の期間は、令和17年度までとし、小学校は17校から9校、中学校は5校から4校に再編する計画です。計画を進めるにあたっては、保護者、地域住民、学校関係者等と十分に協議し、合意を形成しながら進めています。



学校再編の枠組み

適正配置基本計画では、小学校を17校から9校、中学校を5校から4校へ再編する計画です。また、再編後に使用する学校の校舎は、小学校は既存校舎の改修、中学校は新設を予定しています。この計画をもとに地域での協議を十分に行い、合意形成を図りながら再編を進めています。

小学校の再編計画

学校名	児童数(人)			再編計画
	R 5	R 11	R 17	
宇賀荘小学校	44	38	31	
南小学校	56	52	32	再編
能義小学校	60	53	38	
計	160	143	101	

学校名	児童数(人)			再編計画
	R 5	R 11	R 17	
広瀬小学校	198	102	81	
山佐小学校	11	12	8	再編
布部小学校	14	11	6	
計	223	125	95	

学校名	児童数(人)			再編計画
	R 5	R 11	R 17	
飯梨小学校	28	44	31	再編
荒島小学校	164	113	92	
計	192	157	123	

学校名	児童数(人)			再編計画
	R 5	R 11	R 17	
安田小学校	74	50	37	
母里小学校	65	49	32	再編
井尻小学校	17	10	6	
赤屋小学校	26	22	18	
計	182	131	93	

学校名	児童数(人)			再編計画
	R 5	R 11	R 17	
十神小学校	348	351	282	継続
社日小学校	168	127	105	継続
島田小学校	159	132	103	継続
赤江小学校	234	150	104	継続
比田小学校	23	19	12	継続

※令和11年度以降の児童数は、出生数等から推計した見込みの人数です。

※比田小学校は児童数が少なく複式学級ですが、再編した場合の通学負担が特に大きいため、比田小学校として継続する計画です。

中学校の再編計画

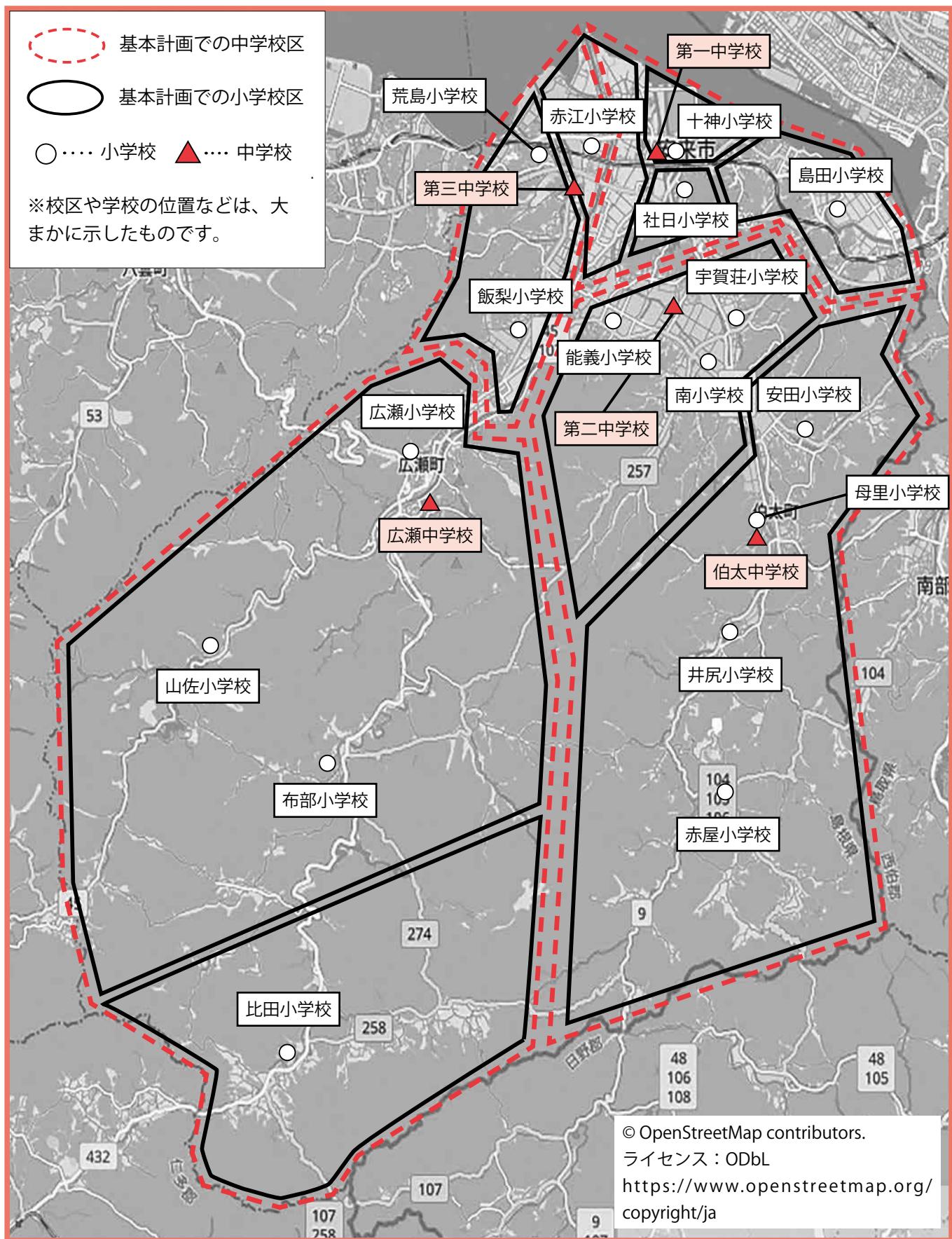
学校名	生徒数(人)			再編計画
	R 5	R 11	R 17	
第一中学校	446	431	321	継続
第三中学校	154	128	88	継続
広瀬中学校	145	128	62	継続

学校名	生徒数(人)			再編計画
	R 5	R 11	R 17	
第二中学校	81	86	63	
伯太中学校	119	99	54	再編
計	200	185	117	

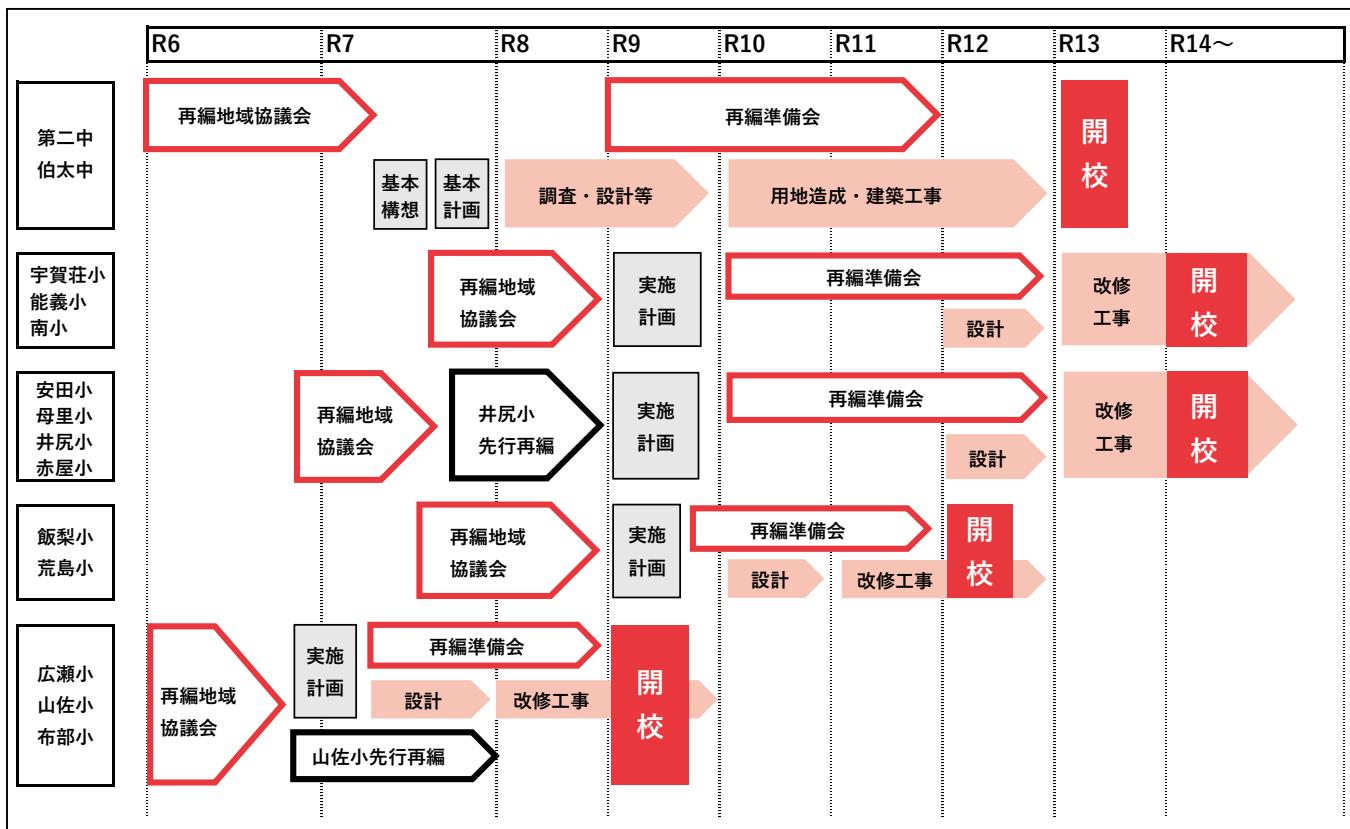
※令和11年度以降の生徒数は、出生数等から推計した見込みの人数です。



学校再編のイメージ図



再編に向けたスケジュール（現時点での想定）



※実際の開校時期などは再編地域協議会を経て決定します。

開校に向けて

上の図は、各学校が再編して開校するまでの大きな流れを示しています。まず「再編地域協議会」で地域の皆さんと再編について合意した後、各種計画を策定し、「再編準備会」で校名などの詳細を協議します。そして、施設整備を並行して進め、各学校の状況に合わせたスケジュールで開校します。

再編地域協議会

再編を進める際は、まず各校区の地域住民と保護者で構成する「再編地域協議会」を立ち上げ、再編に向けた次の内容を協議します。

再編を進める際は、まず各校区の地域住民と保護者で構成する「再編地域協議会」を立ち上げ、再編に向けた次の内容を協議します。

1、計画に基づく再編への合意
2、再編の時期
3、再編後の学校施設の場所
これらのことについて1～2年程度協議した後、教育委員会と合意書を取り交わし、再編内容を決定します。

各種計画の策定

協議会で決定した再編内容は、教育委員会が小学校の「再編実施計画」としてまとめます。

また、中学校については、校舎の新設に向けて、学校施設の全像を定める「基本構想」と具体的な設備や配置などを定める「基本計画」を策定します。

再編準備会

再編を決定した後、再編に伴う様々な事項を決めるため、「再編準備会」による協議を行います。メンバーは各学校の関係者や保護者、地域住民で構成され、2～3年程度かけて、校名や校歌、通学方法など、開校に向けた詳細事項を協議します。



▲広瀬・山佐・布部小学校の再編準備会の様子

再編準備会などの協議と並行して、学校施設の新設・改修に向けて、調査から設計、工事までを行います。

学校施設の整備



各校区の進捗状況

令和6年度から再編に向けた協議を進めており、「広瀬、山佐、布部小学校区」「第二中学校、伯太中学校区」「安田、母里、井尻、赤屋小学校区」では、「再編地域協議会」を経て再編を決定しました。引き続き、保護者や地域の方々と十分に協議を行った上で、小中学校の適正配置を進めていきます。

広瀬、山佐、布部小学校区

<これまでの経過>

▶再編地域協議会を開催

令和6年5月28日～令和7年1月30日
(全4回で終了)

【再編地域協議会での合意内容】

1. 安来市立小中学校適正配置基本計画に基づき、広瀬、山佐、布部各小学校を再編する
2. 再編後の小学校の場所は、現在の広瀬小学校とする
3. 開校時期は、令和9年4月1日とする。ただし、これに先駆けて山佐小学校は令和8年4月1日から現広瀬小学校へ再編する

▶再編準備会を開催

令和7年6月13日～(本部会議3回、各部会を開催)

<現在の状況>

- ・再編準備会で開校に向けた詳細を協議中

安田、母里、井尻、赤屋小学校区

<これまでの経過>

▶再編地域協議会を開催

令和7年3月25日～令和7年8月22日
(全3回で終了)

【再編地域協議会での合意内容】

1. 安来市立小中学校適正配置基本計画に基づき、安田、母里、井尻、赤屋各小学校を再編する
2. 再編後の小学校の場所は、現在の伯太中学校とする
3. 開校時期は、令和14年度を目指す。ただし、これに先駆けて井尻小学校は令和9年4月1日から現母里小学校へ再編する

<現在の状況>

- ・先行再編する井尻小学校について準備中

第二中学校、伯太中学校区

<これまでの経過>

▶再編地域協議会を開催

令和6年5月29日～令和7年8月22日
(全6回で終了)

【再編地域協議会での合意内容】

1. 安来市立小中学校適正配置基本計画に基づき、第二中学校と伯太中学校を再編する
2. 再編の中学校の場所は、現在の第二中学校とその隣接地とする
3. 開校時期は、令和13年度を目指す

<現在の状況>

- ・新校舎建設に向けて基本構想を策定中

宇賀荘、南、能義小学校区

<これまでの経過>

▶再編地域協議会を開催

令和7年11月7日(第1回を開催)

<現在の状況>

- ・再編地域協議会で協議中

飯梨、荒島小学校区

<これまでの経過>

▶再編地域協議会を開催

令和7年10月2日(第1回を開催)

<現在の状況>

- ・再編地域協議会で協議中

